

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地歴 科目 世界史教養

教科：地歴 科目：世界史教養 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（月曜日：三上）（金曜日：菅澤）

使用教科書：（世界史探究 高校世界史（山川出版社））

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】 諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、自ら情報を調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。

【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質に理解を深め、近現代の歴史については、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。また、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

科目 世界史教養 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、自ら情報を調べまとめる技能を身につける。	諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。	諸地域の歴史的特質に理解を深め、近現代の歴史については、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。また、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【単元名】 世界史へのまなざし 文明の成立と古代文明の特質	【目標】 オリエント文明、インダス文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解する。 古代文明に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係を多面的・多角的に読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 オリエント文明、インダス文明、中国文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 古代文明に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	10
	【単元名】 西アジアと地中海周辺の国家形成	【目標】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解する。 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家などをもとに、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸現象の背景や原因、結果や影響、事象相互関係などを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海周辺の歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	20
	定期考査				○	○	
2 学 期	【単元名】 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	【目標】 キリスト教とイスラーム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解する。 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のかかわりなどを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現する。 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 キリスト教とイスラーム教の成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のかかわりなどを読み取り、関連性や意義を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習する態度】 西アジアと地中海周辺、ヨーロッパの歴史的特質について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	18
	【単元名】 東アジアの展開とモンゴル帝国 アジア諸帝国の繁栄	【目標】 西アジア社会の動向とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄を構造的に理解する。 西アジア社会の動向とアジアの相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 西アジア社会の動向とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	【知識・技能】 西アジア社会の動向とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄とその展開を構造的に理解することができる。 【思考・判断・表現】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアの相互関連に着目して、主題を設定し、諸資料を比較したり、関連付けたりして読み解き、諸地域の特色を多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【主体的に学習する態度】 西アジア社会の動向とモンゴル帝国、アジア諸帝国の繁栄とその展開について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	○	○	○	20

		開について、よりより任云の表現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。	諸国々の茶木とでの展開について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする。				
	定期考査			○	○		1
3 学 期							
							合計 70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地歴 科目 世界史探究

教科：地歴 科目：世界史探究 単位数：3 単位
 対象学年組：第3学年 1組～6組
 教科担当者：（1組：菅澤）（2組：菅澤）（3組：三上）（4組：三上）（5組：菅澤）（6組：菅澤）
 使用教科書：（世界史探究 高校世界史（山川出版社））

教科 地歴 の目標：
 【知識及び技能】諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、自ら情
 【思考力、判断力、表現力等】諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議
 【学びに向かう力、人間性等】諸地域の歴史的特質に理解を深め、近現代の歴史については、課題を主体的に追究・解決しようとする態度

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
諸地域の歴史的特質の形成、諸地域の交流・再編、諸地域の結合・変容、地球世界の課題について、自ら情報を調べまとめる技能を身につける。	諸事象を多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握・考察・構想したことを説明したり、議論する力を身につける。	諸地域の歴史的特質に理解を深め、近現代の歴史については、課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。また、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	世界史へのまなざし 大交易・大交流の時代 近世ヨーロッパ世界の動向	スペインとポルトガルの活動、宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解する。 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。 諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながり、宗教改革の意義、などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	スペインとポルトガルの活動、宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解することができる。 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現することができる。 諸地域の交易とヨーロッパの進出に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	近世ヨーロッパ世界の動向 産業革命と環大西洋革命	大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解する。 ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現する。	大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解することができる。 ヨーロッパ諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、大西洋両岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	○	18
定期考査			○	○		1	
2 学 期	産業革命と環大西洋革命 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 アジア諸地域の動揺と変容	産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開、国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成、を構造的に理解する。 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながり、世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。	産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開、国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成、を構造的に理解することができる。 大西洋両岸諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながり、世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。				25
	定期考査			○	○		1
	帝国主義とアジアの民族運動 第2次産業革命と帝国主義	国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の	国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の				

	世界再分割と列強の対立 アジア諸国の変革と民族運動 第一次世界大戦と社会の変容	易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解する。 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。	植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解することができる。 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	24
	定期考査			○	○	1
3 学 期	アジア・アフリカ地域の民族運動 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊 第二次世界大戦 新しい国際秩序の形成	世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解する。 世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながり、第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因、戦後の動向などを多面的・多角的に考察し、表現する。	世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺、第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、国際関係の緊張と対立、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解することができる。 世界恐慌と国際協調体制の動揺に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながり、第二次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因、戦後の動向などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。	○	○	15
	定期考査			○	○	1

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地歴公民 科目 日本史特講

教科：地歴公民 科目：日本史特講

単位数：4 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組

教科担当者：（1組：志村）（2組：志村）（3組：志村）（4組：志村）（5組：志村）（6組：志村）

使用教科書：（日本史探究（東京書籍））

教科 地歴公民 の目標：

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史特講 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
知識：諸事象の因果関係や、世界と日本を広い視野で捉え、近現代の歴史を理解する。 技能：諸資料から歴史に関する様々な情報を適切にまとめる技能を身に付ける。	諸事象の意味や歴史的意義、特色などを、比較・推移・相互の関連等に着目しながら考察し、課題について考察する力を身に付ける。	諸事象についての課題を主体的に追求・解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察を通して、他国や自国の文化を尊重することの大切さを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・旧石器文化から縄文文化への変化、弥生文化の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、先史社会の特色を理解する。	先史社会の生活と文化 律令国家の形成と古代文化の展開	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	19
	・貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の変容を理解する。	摂関政治と貴族文化 中世社会の成立	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	20
	・武家政権の成立と展開、産業の発達、宗教や文化の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解する。	武家政権の成立と朝廷	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	10
	・武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解する。	武家支配の広がり国際交流	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	・日露戦争は、日本の国際的な地位をどのように変化させ、どのように国際関係が変化したのかを理解する。 ・日露戦争後の日本で、民衆の不満が高まった背景や原因、戦争が及ぼした影響などに着目して考察する。	日露戦争と帝国日本 日露戦争後の社会と政治 両大戦間期の日本	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	24
	・大正期の産業や文化にはどのようなものがあったか理解し、産業の発達の背景や影響について考察する。 ・選挙権の拡大が起こった背景やその意義について考察し、地域社会における労働や生活の変化などを理解する。 ・第一次世界大戦中と戦後に日本はどのような国際関係を築いたのかを考察し、その結果を理解する。	都市化・重工業化と生活の変化 政党政治とデモクラシー 国際社会のなかの日本	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	24
	・恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。	第二次世界大戦と日本 昭和恐慌と立憲政治の動揺 中国侵略と戦時体制への移行	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
3 学期	過去の大学入試問題に取り組み、実践力を高める	過去問演習	小テスト 課題 討論・発表 学習の振り返り等	○	○	○	19
	定期考査						1

○	○		合計
			140

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 地歴 科目 地理教養

教科：地歴 科目：地理教養 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～6組 選択者

教科担当者：水曜日：菅澤 侑也 金曜日：渡辺 浩章

使用教科書：（高等学校 新知路総合（帝国書院）・新詳高等地図（帝国書院））

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。

【思考力、判断力、表現力等】地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについて理解を深める。

科目 地理教養 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を知る。	地理に関わる事象の特色や相互の関連を、位置や分布、自然環境、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについて理解を深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
グローバル化する世界	<ul style="list-style-type: none"> 世界を結ぶ航空交通の発達、貿易を支える海上交通の発達、陸上交通の発達と変化について理解し、多面的・多角的に考察し、表現している。また、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について理解し、多面的・多角的に考察し、表現している。また、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて理解し、多面的・多角的に考察し、表現している。また、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	12
自然環境と防災	<ul style="list-style-type: none"> 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	6
1 学期 歴史的背景と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視 	観察 調べ学習 話し合い活動	○	○	○	12

令和7年度 (3学年用)

教科 公民

科目 政治経済

教科：公民

科目：政治経済

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：(1 組～6 組：渡邊)

使用教科書：(詳述政治・経済(実教出版))

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】我が国や世界の政治や経済に関わる諸事象について、時事問題と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国や世界の政治経済に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】政治や経済の仕組みについて意味や意義を、今までの歴史的背景や国家間の相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治経済

の目標：

【知識及び技能】	【思考力・判断力・表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国や世界の政治や経済に関わる諸事象について、時事問題と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国や世界の政治経済に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	政治や経済の仕組みについて意味や意義を、今までの歴史的背景や国家間の相互の関連などに着目して、概念などを活用して考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察したことを説明・議論する力を養う	諸事象について、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	民主政治の基本原理	民主主義が生まれた背景について	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	10
	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の内容	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	日本の政治機構	三権分立を日本ではどのように実践しているか	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	18
	現代日本の政治	選挙や政党政治の変遷と現状	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
2 学期	経済社会の変容	経済活動とはどのようなことか	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	20
	現代経済の仕組み	現在社会における経済の仕組みについて	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	20
3 学期	現代の国際政治	国際社会の誕生から現在の国際政治の状況について	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	20
	現代の国際経済	国際収支や国際経済の歴史を理解し、これからの国際社会について考察する	観察 ノートの記述 話し合い	○	○	○	20
						合計	140